

DK-5000 SERIES MANUAL

取扱説明書

DK-5010B

TYPE
B

この度は当社の製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

お持ちの製品が本取扱説明書で記載の製品と一致するか製品ラベルにてご確認ください。

この製品を安全に正しくご使用頂くために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、

正しくお使いください。

この説明書は、いつでも使用できるよう大切に保管してください。

■はじめに

DK-5010Bは、10個の入力キーが押されるたびに、その日時とそれぞれの入力数とそれらの合計値を記憶するタイムスタンプ記録です。記録開始から終了までの日時と共に記憶された入力数の値の集合体を1組のレコードと呼びます。

※ご注意ください

本器には専用ソフトウェアが用意されています。本ソフトウェアを使用して、計数中の入力数をPCに表示できます。またPCでレコードを取り込んだり、PCからレコードを削除できます。ソフトウェアは、弊社ホームページから無償でダウンロードできます。本ソフトウェアは、Windows7/8/8.1上で動作します。

DK-5010BとPCとの接続には、マイクロUSBケーブル(Bタイプ)をご使用ください。

■電源

次の3つの方法で電源を供給できます。

- ▶ AC/DCアダプタ(別売)※
- ▶ USB電源(5V,100mA)
- ▶ 単4乾電池×4本

※AC/DCアダプタは、別売のDK-5000専用アダプタをご使用ください。

初めてお使いの際、および全ての電源が断たれ再度電源が供給された際には、表示部のLCDセグメントが2~7秒間点滅した後、日時の設定モードになります。日付と時刻を設定してお使いください。(詳細は、「キー操作」をご参照ください。)

※ご注意ください

電源の供給が断たれると内蔵されている時計が停止します。AC/DCアダプタやUSB電源でご使用される際にも、時計の停止を防ぐために、併せて電池のご使用をおすすめします。AC/DCアダプタやUSB電源が接続されている場合、電力は電池から供給されず、電池は消耗しません。

新品のアルカリ電池で、通常のご使用環境において200時間動作します。

電池が消耗すると表示部の右上に  が表示されます。

- ▶ 電池の残量が少ない時
- ▶ 電池をご使用されていない時

内部の時計が停止した場合、再度のご使用の際には、自動的に日時の設定モードとなります。日付と時刻を再度設定してください。時計が停止しても、入力数とレコードは保持されています。(詳細は、「キー操作」をご参照ください。)

■操作モード

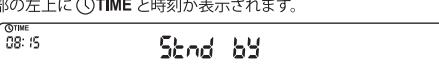
次の4つの操作モードがあります。

- ①スタンバイモード ②レコードモード ③設定モード ④メモリー呼び出しモード

●スタンバイモード

スタンバイモードは、基本の操作モードです。表示部には、「stnd by」が表示されます。

表示部の左上に ①TIME と時刻が表示されます。



スタンバイモードでは、各々の入力キーが機能しません。[F]と[1]、[2]、または[3]のキーが同時に押されると、操作モードはスタンバイモードから他のモードへ切り替わります。(詳細は、「キー操作」をご参照ください。)

●レコードモード

レコードモード中は、入力キーが押される毎に、日時と共に表示している入力数を記憶します。スタンバイモード中に[1]を1秒押すとレコードモードになり記録を開始します。

再び[1]を1秒押すと記録を終了し、スタンバイモードに戻ります。



レコードモードでは、各々の入力キーが機能します。個別入力数と合計値は、対応する入力キーが押される度に計数されます。[F]と[1]、[2]、または[3]のキーが同時に押されると、操作モードはレコードモードから他のモードへ切り替わります。(詳細は、「キー操作」をご参照ください。)

●設定モード

設定モードには、次の2つがあります。

- a.) 日時の設定モード
- b.) 本体IDの設定モード

これらの設定モードで、日付と時刻の設定または本体IDの設定や確認ができます。スタンバイモードからの切り替え時は設定変更ができ、レコードモードからの切り替え時は、設定内容の確認ができます。(詳細は、「キー操作」をご参照ください。)

●メモリー呼び出しモード

本器に記憶されているレコードを表示するモードです。表示部の左上にMEMと4桁のメモリー番号が表示されます。このメモリー番号は各々のレコードの記憶場所を表します。

レコードが削除されると、各々のレコードの記憶場所は移動し、メモリー番号は付け変わります。



注意
取扱いを誤った場合に、取扱者が傷害を負う恐れのある場合や機器を損傷する恐れのある場合の注意事項を記載しています。

●お問い合わせは下記まで

LINE 精機株式会社
本社 〒152-0001 東京都目黒区中央町2-37-7
TEL : 03-3716-5151 FAX : 03-3710-4552
E-mail webtrade@line.co.jp
URL http://www.line.co.jp

次の2つの表示モードがあります。

- a.) タイムスタンプの表示モード
- b.) 入力数の表示モード



タイムスタンプの表示モードは、そのレコードの記憶が終了した時の日時を表示します。入力数の表示モードは、10個の入力数とその合計値を表示します。

記憶されている全レコードの消去もこのモードからできます。

(詳細は、「キー操作」をご参照ください。)

■ソフトウェア

DK-5000専用ソフトウェアを用意しています。ソフトウェアは、弊社ホームページから無償でダウンロードできます。

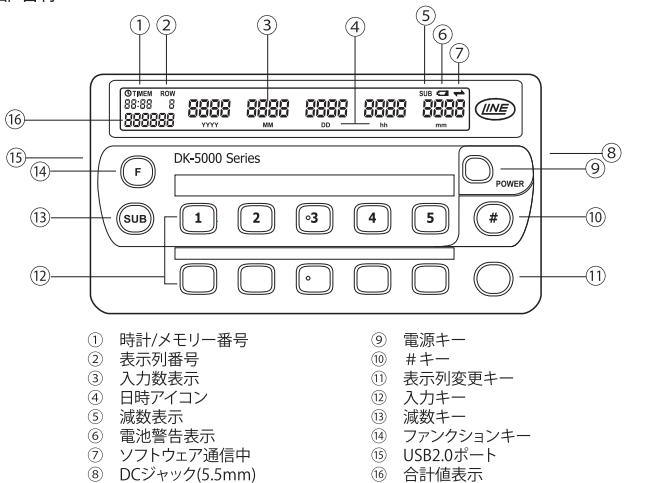
DK-5000専用ソフトでは以下のことができます。

- ・本器からのレコードの取り込みおよびレコードのログデータ表示(入力日時表示)
- ・取り込んだレコードを「.xls」または「.csv」ファイルで出力
- ・本器に記憶されているレコードの削除
- ・日時の同期
- ・本体IDの変更

また、計測中の入力数をPCの画面にリアルタイムに表示できます。表示は1秒ごとに更新します。詳しくは、DK-5000 Mieruzzoソフトウェアユーザーマニュアルをご参照ください。

本器とソフトウェアが接続されている時は、表示部の右上に  が表示されます。

■各部名称



- | | |
|-----------------|-------------|
| ① 時計/メモリー番号 | ⑨ 電源キー |
| ② 表示番号 | ⑩ #キー |
| ③ 入力数表示 | ⑪ 表示列変更キー |
| ④ 日時アイコン | ⑫ 入力キー |
| ⑤ 減数表示 | ⑬ 減数キー |
| ⑥ 電池警告表示 | ⑭ ファンクションキー |
| ⑦ ソフトウェア通信中 | ⑮ USB2.0ポート |
| ⑧ DCジャック(5.5mm) | ⑯ 合計値表示 |

■キー操作

●電源キー

電源(On/Off)

- ◆電源キーを1秒間押すと電源が入ります。電源投入時はスタンバイモードです。画面には「stnd by」と表示されます。
- ◆電源キーを3秒間押すと電源が切れます。レコードモード中に電源が切られた際、入力数は記憶され、電源が切れます。再度電源が投入された時は、スタンバイモードです。

●Fキー(ファンクションキー)

日時の設定(スタンバイモード)

- ◆[F]キーを押しながら[1]を押すと、日時の設定モードになります。「年年年月-月日-時時-分分」の形式で日時が表示されます。



- ◆[1],[2],[3],[4],[5]のキーを押すと、日時の値を増数します。[[1]:年 [2]:月 [3]:日 [4]:時 [5]:分]
- ◆[SUB]キーを押しながら、[1],[2],[3],[4],[5]のキーを押すと、各キーの値は連続して増数します。([SUB]キーをご参照ください。)

- ◆[F]キーを押すと日時の設定モードが終了し、スタンバイモードに戻ります。
- 注) ※レコードモードから本操作を行った場合、「日付と時刻」の設定が機能しません。

本器に記憶されているレコードを表示するモードです。表示部の左上にMEMと4桁のメモリー番号が表示されます。このメモリー番号は各々のレコードの記憶場所を表します。

レコードが削除されると、各々のレコードの記憶場所は移動し、メモリー番号は付け変わります。

●「F」キー(ファンクションキー)

本体IDの設定(スタンバイモード)

- ◆[F]キーを押しながら[2]を押すと、本体IDの設定モードになります。3桁の本体IDが表示されます。本体IDは、ソフトウェアが個々のDK-5000を識別するために使用されます。



- [3],[4],[5]のキーを押すことで、本体IDの各桁が増数します。

- [3],[4],[5]のキーを押し続けると、各桁を連続して増数します。

- ◆[F]キーを押すと本体IDの設定モードが終了し、スタンバイモードに戻ります。

- 注) ※レコードモードから本操作を行った場合、「本体IDの設定」が機能しません。
※ソフトウェアと接続している時は、本体にて本体IDの変更はできません。

メモリー呼び出し(スタンバイモード/レコードモード)

- ◆[F]キーを押しながら[3]を押すと、メモリー呼び出しモードになります。最新に記憶されたレコードの最終値が表示されます。



レコードが無い場合は「no data」と表示されます。



- ◆[1]キーを押すと次のレコードが表示されます。
- ◆[2]キーを押すと前のレコードが表示されます。
- ◆[3]キーを押すと選択したレコードのタイムスタンプが表示されます。
- ◆[4]キーを押すと選択したレコードの入力数が表示されます。
- ◆[F]キーを押すとメモリー呼び出しモードが終了し、各モードに戻ります。

メモリー全消去(スタンバイモード)

- ◆スタンバイモード中に[F]キーを押しながら[3]を押して、メモリー呼び出しモードに切り替えてください。
- ◆[5]キーを押すと「メモリー全消去」モードになります。
- ◆「メモリー全消去」モードにおいて全消去確認画面が表示されます。



- ◆[4]キーを1秒押すと、「Yes」が選択されます。全レコードが消去された後、「メモリー呼び出し」モードに戻り、「no data」と表示されます。メモリー消去中は「All Data ---- Clear」と表示されます。



- ◆[5]キーを押すと、「No」が選択されます。レコードが消去されず、「メモリー呼び出し」モードに戻ります。

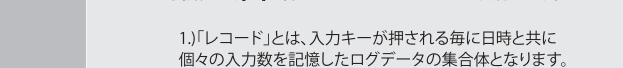
- ◆[F]キーを押すとメモリー全消去モードが終了し、スタンバイモードに戻ります。

- 注) ※「メモリー全消去」モードは、レコードモード中にはアクセス出来ません。
※メモリー消去中は、データの損傷を防ぐために、電源を断たないでください。

●「#」キー

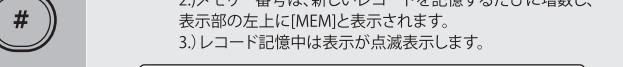
レコードの記録

- ◆スタンバイモード中に、[#]キーを1秒押すと、レコードモードになり記録を開始します。レコード開始画面には、「0」が表示されます。レコード開始とは、[#]が押されたタイムスタンプから記憶します。



- 1.)「レコード」とは、入力キーが押される毎に日時と共に個々の入力数を記憶したログデータの集合体となります。

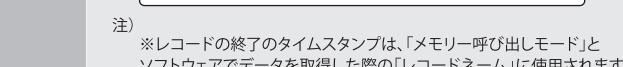
- ◆レコードモード中に、[#]キーを再度1秒押すと記録を終了します。レコードモードからスタンバイモードに戻ります。「レコード」には、入力開始から終了までの入力キーが押される毎に日時と共に記憶したデータの集合体を1組として記憶されます。



- 2.)メモリー番号は、新しいレコードを記憶するたびに増数し、表示部の左上に[MEM]と表示されます。
- 3.)レコード記録中は表示が点滅表示します。



- 4.)保存後、本器はスタンバイモードに戻り、レコード出来なくなります。



- 注) ※レコードモードから本操作を行った場合、「日付と時刻」の設定が機能しません。

●入力キー

レコードモード

- ◆[1]-[10]のキーを押すと、各入力数を増数し日時と共に個々の入力